



平成 30 年 7 月 13 日
海 上 保 安 庁

西之島の噴火について

1. 噴火の状況

7月13日午後2時5分から午後3時5分の間、当庁羽田航空基地所属航空機MA722により、西之島の火山活動の観測を実施しました。その結果、噴火が継続していることを確認しました。

詳細は以下のとおりです。

【調査結果】

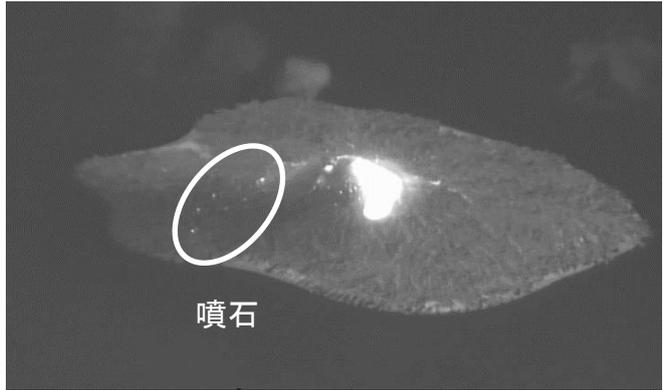
- ・噴 火：火砕丘東側斜面に形成された新火口から、噴火が40秒から1分20秒程度の間隔で断続的に発生している。
- ・噴 煙：新火口から灰色の噴煙が高さ600mまで放出されている。
- ・噴 石：新火口の周囲に噴石が500m付近まで放出されている。
- ・溶 岩：火砕丘の東側山麓部に長さ約200mの溶岩流が確認できる。

2. 航行警報

引き続き、航行警報により付近航行船舶に注意を呼びかけています。



火砕丘東側斜面から噴煙が噴出している。



新火口から噴石が500m付近まで放出されている。



火砕丘の東側に溶岩流が約200m流出している。

